



クラブ会長の役割と責務

伊勢原RC
松下 孝

会長の役割と責務について

■役割

クラブを代表し、方向性を示しながら円滑な運営をリードする

■責務

1. クラブ運営の総括
2. 方針と目標の設定・推進
3. 会員の増強
4. 奉仕活動の推進
5. 対外的な代表
6. クラブの方向性・将来性を考える



責務 1：クラブ運営の統括

例会・理事会を主宰し、クラブ全体の活動を管理する。

☆例会 = クラブ活動の原点：ただ一緒に食事をするだけではダメ

- 会員相互の信頼関係の醸成

 - 情報交換

 - 学びの場(卓話等)

- 奉仕活動の推進

 - 報告・検討・決定（情報共有）

例会への出席が奉仕の第一歩→質と出席率に配慮が必要

☆理事会 = クラブ運営の意思決定機関

- クラブの方向性を決定する（方針と戦略）

- 透明性と公正性の確保（メンバーの固定化×）



責務 2：方針と目標の設定・推進

活動計画を立てて会員と共有して実行する。



☆主な活動計画

- 例会・行事のスケジュール
- 奉仕活動
- 会務分担
- 予算
- 数値目標：会員数・財団・ポリオ・米山 いずれも6/30時点
- 戦略計画

☆立案から実施への流れ

会長・幹事（原案） → 理事会（修正・承認） → 委員長（協力） → 会員（共有・実行）

責務3：会員の増強

増強 = 新会員の勧誘（増やす） + 既存会員の育成（強くする）

☆会長の本気度・熱意

- 増強は会長の**熱意**を感じた会員がやってくれる
- 会長の**熱意**を感じた会員は辞めない



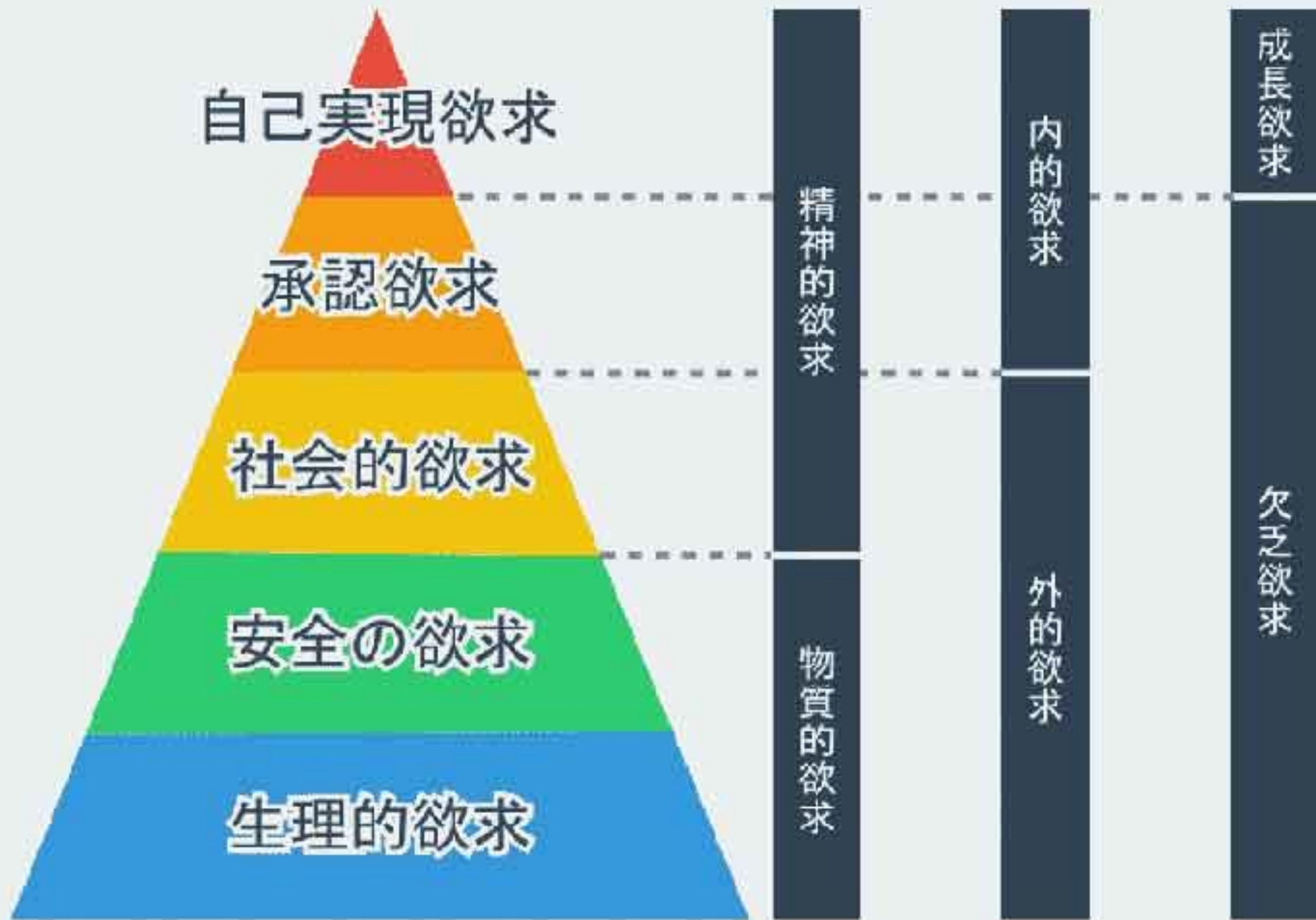
☆既存会員の育成 → 居心地の良さを最大化する

- 承認要求（認められたい） + 社会的欲求（役に立ちたい）

→ 帰属意識（仲間でいたい） → **会員やロータリーの事をもっと知りたい！**

☆新会員の勧誘 → 会長・幹事・スポンサー経験者のタスクチーム

ロータリーの知識ZEROにアピール？（最後はコネと**熱意**）



責務4：奉仕活動の推進

継続事業と新規事業のバランスと全員参加



☆継続事業の検証 → ただ単に前年踏襲は✕

■継続すべきか？

■改善点・工夫する点はないのか？

☆新規事業の検討

■地域社会のニーズ、若い世代の意見を取り入れる

■任期(2026/7/1)までに計画する（地区補助金）

一部の会員だけでなくできる限り多くの会員が参加できる工夫が必要

責務5：対外的な代表

地区や他クラブ、地域社会との連携・調整



☆地区、他クラブとの連携

- 会長・幹事会 → 地区の情報を確実に会員に伝える
クラブの状況をAGに伝える(活動、会員数、寄付等)
- セミナー、地区委員会、地区大会、地域イベント、国際大会等々
→ 自身だけではなく会員に機会を

☆地域社会との連携

- 地域社会のニーズ、若い世代の意見を取り入れる為にも
→ 自治体や学校との連携にチャレンジしてください

責務6：クラブの方向性・将来性を考える

最も大切な最も難しい課題



☆クラブの方向性が既に検討され、事項されている場合

- 自身の年度の立ち位置を認識し実行
- 前年までの実施状況を分析し、必要であれば修正する

☆クラブの方向性が曖昧な場合

- クラブの未来像を言語化し、3～5年で実現するための道筋をつくる
 - クラブの現状を把握するため「会員満足度調査」を行う
 - クラブの強み・弱みを会員で話し合う
 - クラブビジョンを考えてみる

次年度の準備

■マイロータリーに登録する

■現年度及び次年度との連携構築

■ラーニングセンターのクラブ会長の基本情報コースを活用

■クラブ計画書作成

■クラブ活性化のための指標を作成

■クラブ・セントラルに目標を入力





ご清聴ありがとうございました！